



PRESS RELEASE

令和 8 年 9 月 20 日

木曽川水園が朱色に染まる ヒガンバナ見頃間近！

河川環境楽園木曽川水園下流域では、ヒガンバナが咲き始めました。

ヒガンバナは、下流域の水辺沿いと中の島、棚田周辺に植えられており、この時期は辺り一面を朱色に染め上げてとても美しい景色を作り出してくれます。また、木曽川水園ならではのヒガンバナが水面に映る幻想的な風景もお楽しみいただけます。今年は昨年より少し早い開花となりました。

現在、次々とヒガンバナが開花しており、シルバーウィーク後半には見ごろを迎える予想です。その後1週間ほどはお楽しみいただけます。（天候によって前後する場合がございます。）

ご多忙中とは存じますが、季節の話題として是非取材並びに記事掲載のほど、よろしくお願い申し上げます。





現在の開花状況



昨年（2022年）のヒガンバナ



秋の七草オミナエシも咲いています



オミナエシとヒガンバナ

■ヒガンバナについて

ヒガンバナ科ヒガンバナ属の多年草

ヒガンバナの名は、秋の彼岸の頃に花が咲くことに由来する。曼珠沙華（マンジュシャゲ）とも呼ばれ、原産地は中国。田のあぜ道や土手、人家の周辺、墓地などに群生することが多い。花茎をまっすぐ伸ばしたその先に朱赤色の花を多数集まって咲かせる。花卉は強く反り返り、葉は花後に出し春には枯れる。有毒植物だが、鱗茎をすりつぶして水でさらせば食用になる。飢餓の時に利用された。

◆お問い合わせ先◆

河川環境楽園 自然発見館 担当：伊神、小野、栗田
〒501-6023 岐阜県各務原市川島笠田町 河川環境楽園内
電話：0586-89-7023 FAX：0586-89-7021



自然発見館 HP



河川環境楽園
ポータルサイト